



8 | 28 ホームにこだまする癒しのメロディー 新十津川駅前で終着駅ライブ

町民有志のグループ「みんなの家(松葉るみこ代表)」が、JR新十津川駅前でライブを開催し、33人がフルートの音色を楽しみました。

ライブは祈りをテーマにした踊りでスタート。フルートの演奏が続いて、ヤクスギヤポプラで作られた、手製のフルート(インディアンフルート)の演奏が披露されました。終盤には、観客も一緒に太鼓をたたいて演奏に参加し、音の魅力を感じていました。

フルート奏者の小野昭一さんは「人間の息と木が触れ合って、きれいな音が出るのが不思議ですね。その音をきれいだと感じる人間の心も不思議だと思いませんか」と観客に問いかけていました。

8 | 6 受章者の栄誉を盛大に祝う 叙勲褒章受章祝賀会

春の叙勲・褒章で瑞宝双光章を受章した萩原輝俊さんと、藍綬褒章を受章した寺島敏さんの栄誉を祝って、知人や親戚など102人の出席のもと、改善センターで叙勲褒章受章祝賀会が開催されました。

出席者から多数の祝福を受け、萩原さんは「身に余る光栄です。栄誉に恥じないよう、誠心誠意精進します」と、寺島さんは「一生に一度のことと感銘を受けています。これからはなお一層力を入れていきます」と喜びの言葉を述べました。





8 | 11 先生の卵もお手伝い 小中学生の夏季勉強会

改善センターとゆめりあで、夏季勉強会「やまびこ」が開かれ、小学生78人が算数と国語に、中学生25人が数学と英語に取り組みました。

この勉強会は、校長先生や教育委員らでつくる新十津川町の確かな学び推進会議の主催で、今年初めて開かれました。勉強を見るのは、教師をはじめ、普段は教壇に立たない校長先生や、北海道教育大学の学生ボランティアなど。子どもたちが手を上げるたびに駆け寄り、質問に1つずつ答えていました。

小学校の特別支援学級の先生を目指しているという学生ボランティアの北本涼子さん（教育大札幌校3年）は「子どもたちは、分からないところを積極的に聞いてくれるから教えやすいです」と話していました。

8 | 20, 21 夜通しそば振る舞う

24時間テレビのチャリティ募金に協力するため、新十津川手打ちそば同好会が、Aコープ新十津川店前に募金所を開設し、のべ700人の来場者でにぎわいました。

同好会の取り組みは、今年で8回目。手打ちそばの販売は20日午後2時から30時間連続で行われ、470食が販売されました。

募金総額は、持ち寄られた募金と手打ちそばの売上金を合わせて151,000円になりました。



8 | 20 あれから122年、往時を偲ぶ

母村・奈良県十津川村の21世紀の森・紀伊半島森林植物公園で水害慰霊祭が開かれ、更谷村長をはじめ、植田町長や長谷川町議会議長ら152人が参列して、犠牲者の霊を慰めました。

植田町長は「十津川郷の災禍を教訓として、住民の生命財産を守ることを最優先に防災対策を推進する使命があります。先人の尊い命を無駄にしない安全なまちづくりを進めることをお誓いします。」と追悼のことばを述べました。

